

平成27年 10月4日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

誕生祝福式

司 会 : 赤塚敏郎兄
奏 楽 : 片岡立子姉
おいのり : 下岡晶子姉
さんび : 新聖歌 324 「主と主の言葉に」 1・2・4 節
ヤベツの祈り
聖書箇所 : ルカによる福音書 6 章 37 節~45 節 (P.94)
(朗読: 大神久美姉)

音 楽 : YCC青年会クワイヤー(DVD)

メッセージ : 「 人生の実を結ぶ法則 」 菅原 岳牧師

賛美と献金 : 明日はどんな日か
頌 栄 : たたえよ全能の神を
祝 禱 :
報 告 :

【瀬戸ニュース】

- ◇ 来週10月11日(日)は、いつもご厚意で貸して下さっているみずの坂クリニックさんの駐車場が休日診療のため使用できません。よろしくお願ひします。
- ◇ 10月18日(日)は持ち寄り音楽祭です。川口紗奈江さんが特別ゲストです。祈り備えてまいりましょう!!
- ◇ 10月31日(土)はジョイキッズ秋祭り。子ども達が導かれますようにお祈り下さい。
- ◇ 「祈りの課題」用紙をご記入の上受け付け脇のポストにご提出下さい。牧師がお祈りいたします。
- ◇ 祈祷会 木曜 10 時半、土曜掃除 10 時半 祈祷会 11 時 15 分
- ◇ 祝大 Aコース ガラテヤ 5 章~エペソ 5 章 Bコース イザヤ 10 章~28 章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成27年10月11日]

[司会: 深谷浩昭兄、いのり: 加藤由美子姉、聖書朗読: 平松友子姉]

[ピアノ: 片岡立子姉、リード: 大神 雄兄]

[アシスト: 大神久美姉、鄭 恵真姉]

[献金: 下岡晶子姉、大神 雄兄] [受付: 下岡晶子+姉、]

◇PA: 平松章治兄、岡前順勝兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄

◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇ジョイキッズ&分級 (9:30)



秋になると 果物はなにもかも忘れてしまっ て うっとりと実のってゆくらしい 八木重吉

秋は稔(みの)りと収穫のとき。そんなふうにならぬと秋を迎えられる時代はよかった。秋は黄昏時(たそがれどき)というよりは、成熟のときだった。人のみならず自然にもどこか品位があった。今は、人生の秋を前にしてひとはつい悪あがきをするし、天候も異常続きで過去の経験が生きない。なんとも貧相な、このところの秋である。(鷲田清一)

朝日新聞9月15日「折々のことば」より。

八木重吉はクリスチャンの詩人です。果物はうっとりと実っていくという表現は、まるで被造物が神様に見とれて熟していくような在り様が描かれている気がします。哲学者である鷲田清一氏は最近の自然界も人もその秋の迎え方が貧相であると苦言を呈している訳ですが、「秋は成熟のときだった」という言葉に心を刺されました。

収穫の秋でもありますので、私達はせっせと働かなければなりません。果物のように神様の御前に静まってうっとりとその御顔を拝する黙想の時間・静思の時間が、私達が熟成していくためには必要なのだと改めて気づかされました。主の御顔の光に照らされて栄光から栄光へと主と同じ姿に変えられると聖書が言っているのですから。

神様 あなたに会いたくなった

八木重吉の詩に私の思いが重なりました。

瀬戸カルバリーチャペル担任牧師 菅原 岳

「人をさばくな。そうすれば、自分もさばかれることがないであろう。また人を罪に定めるな。そうすれば、自分もゆるされるであろう。」(ルカによる福音書 六章三十七節)